

1月26日

テーマ：いつも主しゅにあって喜よろこびなさい

聖書箇所：ピリピ人への手紙びと てがみ しょう せつ 4章 4節

◆今日のみことば

いつも主しゅにあって喜よろこびなさい。もう一度言いいます。喜よろこびなさい。

ピリピ人への手紙びと てがみ しょう せつ 4章 4節

◆メッセージ

このみことばは、ローマという大都市だいとしの牢獄ろうごくの中なかにいるパウロから、ギリシャのピリピという町まちの教会きょうかいの人ひとたちに送おくりとどけられた手紙てがみの一節いっせつです。

パウロは悪いことわるをしてとらえられたのではありません。イエス・キリストがほんとういの生かみきている神かみさまであり、救すくい主ぬしであることを世界中せかいじゅうの人ひとに知らせたいといっしょうけんめいしになったのです。人ひとにとって一番大切いちばんたいせつなことを伝つたえようと、自分じぶんの命いのちの危きけん険けんをかえりみず、正しいことただをしたのです。そして、あすにも処刑しよけいされるかもしれないという危きけん険けんの中なかにいました。それにもかかわらず、「自分じぶんは今いま、イエスさまによって喜よろこびでいっぱいだ。あなたがたもイエスさまによって喜よろこびにみたまされてください。」と語かたっているのです。

毎日まいにちくるしいことや、いやなことがいっぱいあるのに、「喜よろこびなさい」なんて無理むりと思おもいますか？「主しゅにあって」と書かいてあります。心配しんぱいなことや、悲かなしいことがない人ひとはいないでしょう。でも解決かいけつの道みちがあります。思おもいわずらわないうで、なんでも聞きいてくださる神かみさまに祈いのって、神かみさまに知しっていただくのです。神かみさまは、私わたしたちがお祈いのりしたことをぜんぶひきうけてくださいます。ほんとうたすに助たすかります。

また、怒いかりや人ひとを赦ゆるせない心こころが起おこったら、まず一呼吸ひとこきゅうして、イエスさまの大きな愛あいを思おもうことです。イエスさまは、私わたしの罪つみも赦ゆるしてくださったお方かたです。ほかの人ひとたちのために、私わたしも少しだけ心こころを広ひろげることができます。このようにして、自分じぶんの心こころをイエスさまにつなげましょう。

そうしたらパウロのように、つらい中なかにいても喜よろこぶことができます。イエスさまにあって喜よろこぶことは、生いきる力ちからとなります。そしてまわりの人ひとにも良よい影えい響きやうをあたえます。

◆お祈り

「神かみさま、小ちいさな弱よわい私わたしにも、主しゅにあって喜よろこびつづける生せい活かつを導みちびいてください。苦くるしいことがあっても、うれいことがあっても、あなたにお話はなししてあなたと心こころがむすばれていたいです。」

(読谷聖書教会伝道師 大瀧雅子)

